

【第1回】日本で働くときの基本ルール

外国人として日本で働く中で、「契約内容がよく分からない」「給料や働き方に不安がある」「このまま働き続けて大丈夫か」といった悩みを感じることは少なくありません。

言葉や制度の違いから、一人で抱え込んでしまうケースも多く見られます。

ここでは、働く外国人の方からよく寄せられる質問をもとに、仕事や生活に関する基本的なルールや対応方法を分かりやすくまとめました。安心して働くための参考として、ぜひご活用ください。

契約・在留資格・労働条件の正しい理解とトラブル予防。

Q1

契約を更新しないと言われました。どうすればいいですか？

A1

まずは、契約書に書かれている契約期間や更新の条件を確認してください。そのうえで、会社に更新しない理由や、いつまで働けるのかを具体的に確認することが大切です。生活に影響が出る場合は、できるだけ早く次の仕事を探し始めましょう。ハローワークの利用や、在留資格への影響についての情報収集も同時に進めておくと安心です。

Q2

仕事を辞めたら在留資格はどうなりますか？

A2

仕事を辞めたからといってすぐに在留資格がなくなるわけではありませんが、長期間働いていない状態が続くと問題になる可能性があります。退職後はできるだけ早く新しい仕事を探し、必要に応じてハローワークや入管に相談することが大切です。在留資格の変更が必要になる場合もあるため、早めの行動が重要です。

Q3

給料が少ない、または約束と違います

A3

まずは雇用契約書や労働条件通知書、給与明細を確認し、どの部分が約束と違っているのかを整理しましょう。そのうえで会社に説明を求めることが大切です。やり取りの内容や証拠はメモや写真で残しておく、後の対応に役立ちます。改善が見られない場合は、労働基準監督署などへの相談も検討できます。

Q4

残業を断ることはできますか？

A4

残業は契約内容や会社のルールに基づきますが、無理な長時間労働や強制的な残業は問題になることがあります。残業が難しい場合は理由を伝えて相談し、状況が改善されない場合には記録を残しておくことが大切です。無理を続けるのではなく、自分の体調や生活を優先することも重要です。

Q5

職場でいじめや差別を受けています

A5

まずは、いつ・どこで・誰から・どのようなことをされたのかを記録に残しましょう。そのうえで、社内の上司や相談窓口伝えることが大切です。社内で解決が難しい場合は、外部の相談機関を利用することで解決につながることもあります。一人で抱え込まず、早めに行動することが重要です。

Q6

日本語が分からず仕事で困っています

A6

分からないまま作業を進めるとミスやトラブルにつながるため、遠慮せずに確認することが大切です。「もう一度説明してください」と伝えたり、メモや写真を使って理解を深める方法も有効です。また、翻訳アプリを活用したり、会社にやさしい日本語で説明してもらうようお願いすることも一つの方法です。

Q7

会社を辞めたいのですが、どうすればいいですか？

A7

まずは就業規則や契約書に記載されている退職のルールを確認しましょう。そのうえで、会社に退職の意思を伝え、必要な手続きを進めることが大切です。一般的には一定期間前に申し出る必要があります。無断で辞めるとトラブルになる可能性があるため、手順を守って進めることが重要です。

Q8

有給休暇は使えますか？

A8

一定の期間継続して働いている場合、有給休暇を取得する権利があります。外国人であっても日本人と同様に適用されますので、勤務期間や残りの日数を確認し、事前に会社へ申請しましょう。有給休暇を理由に不利益な扱いを受けることは基本的に認められていません。

Q9

相談したことが会社に知られませんか？

A9

多くの相談窓口では、相談者のプライバシーに配慮して対応しています。本人の同意なく会社に内容が伝えられることは基本的にありません。匿名で相談できる窓口もあるため、不安な場合は事前に確認してから利用すると安心です。

仕事や生活の中で不安や困りごとを感じたときは、一人で悩まずに早めに相談することが大切です。少しでも気になることがあれば、そのままにせず情報を確認し、信頼できる窓口にご相談してみてください。